

# かわにし

議会だより

第155号

2023

10.15



川西町議会H.P  
QRコード

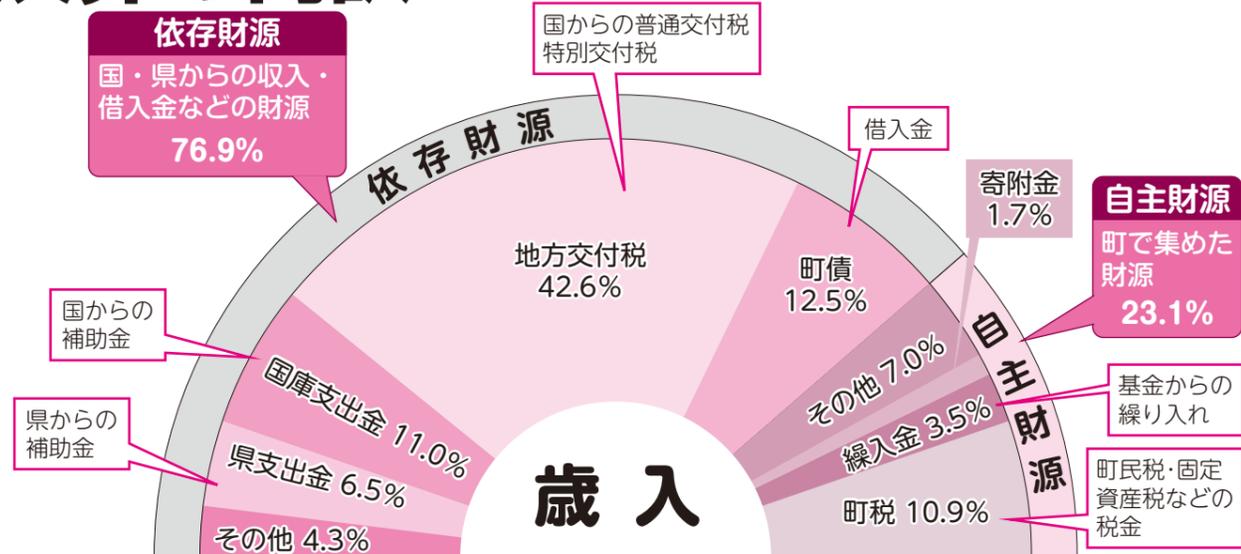
みんなで体験  
実のりの秋

小松小学校の稲刈 P27に関連記事

決算認定・9月定例会	2
議員辞職勧告	13
7人が町政をただす	14
まちかどインタビュー	26
意見交換会 こんな意見が出ました	24~25

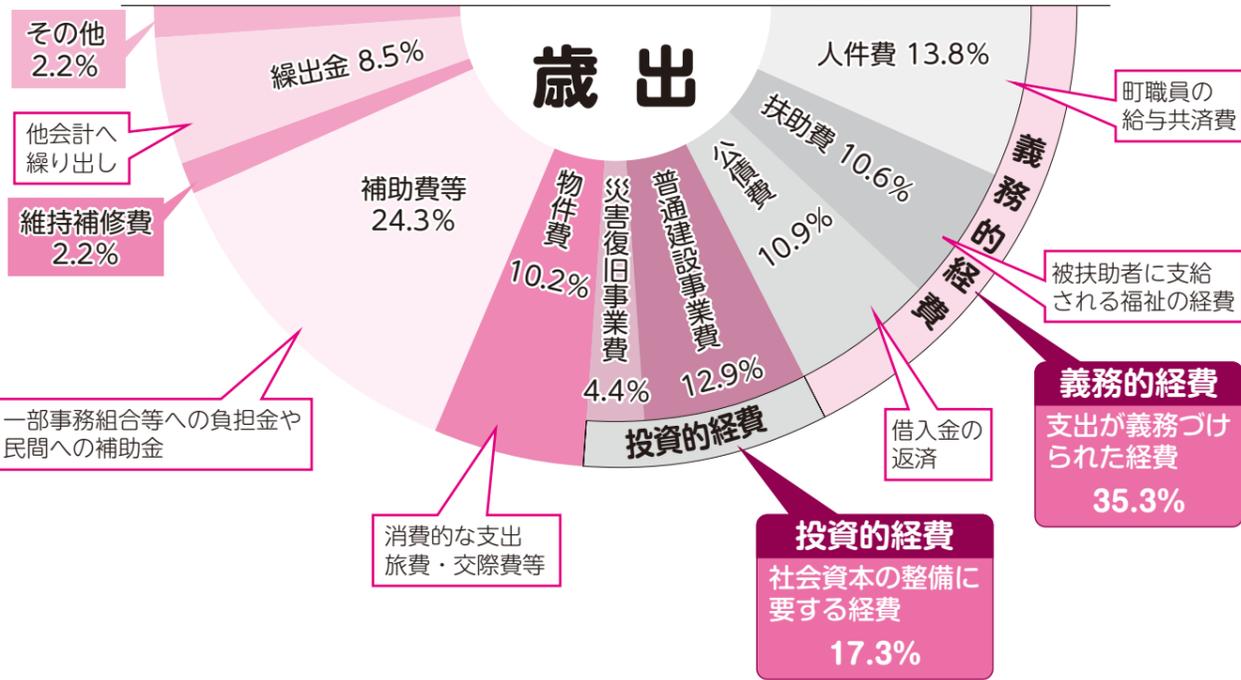
# 大雨被害・早期復旧と災害に強いまちづくりを

## 決算の内訳



## 一般会計

132億671万円  
125億993万円



## 令和4年度主な事業

- 8月3日豪雨災害復旧関連事業  
(大規模土木事業等のほか、災害義援金、災害見舞金、住宅応急修理、水道料減免、商工業支援事業、農機具修繕更新費用補助など)
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金関連事業  
(カワニシお買物券や燃料券配布事業、子育て世帯応援金支給、給食費支援など)
- 旧役場庁舎・中央公民館解体工事
- 地域振興拠点施設整備事業実施設計

## 新型コロナウイルス対策・物価高騰に対応

### 9月定例会のあらまし

9月定例会が、9月1日から20日までの20日間の会期で開催された。

第1日目に、人事3件に同意、令和4年度一般会計等健全化判断比率等報告2件の後、請負契約2件を可決した。条例3件、令和5年度各会計補正予算7件、請願1件を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会に付託した。さらに「高橋輝行議員の不適切な現金受領に関する問責決議」を可決し、決算特別委員会を設置した。

また、令和4年度各会計決算認定7件を一括上程し、

第5日目に決算特別委員会に付託した。

第4、5日目に、7人の議員が一般質問を行い、マイナンバー保険証、水田活用産地づくりプロジェクト会議等について町政をたじた。

最終日に、付託した条例、補正予算、決算を原案通り可決、認定した。請願1件を採択した後、議員発議による「川西町議会こどもまんなか応援サポーター宣言」(p11参照)、「高橋輝行議員に対する辞職勧告決議」などを可決し閉会した。今定例会の傍聴者は7人だった。

### 一般会計は黒字

一般会計の歳入総額は132億671万5千円、歳出総額は125億993万7千円となった。歳入歳出差し引きは6億967万8千円となり、翌年に繰り越す財源1億468万73千円を差し引いた実質収支は5億4990万5千円となった。令和4年度の実質単年度収支は1億6182万円の黒字となった。

### 地方交付税は増額

最大の財源である地方交付税は56億2264万8千円で置賜広域病院企業団分を差し引いた本町純粋分は43億2660万4千円、前年比6992万円の増額となった。

### 借入金残高は増加

借入金残高は増加したが、財政健全化法に基づき財政指標(5ページ参照)は、国の財政指標をクリアしてお

### 適正な財政運営を

自然災害が多発しており、臨時的な財政支出が必要となる。ある程度余裕を持った財政運営が必要である。一層の行財政改革に努め、より適正な財政運営を望む。

# 災害復旧など突発的な 財政支出に対応する余裕を

## 監査 意見

# 豪雨災害復旧に全力投入

## 決算 審議

# コロナ影響による経済低迷、物価高騰の中

決算特別委員会は常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計を審議した。

ここでは監査意見、総括質疑、町長に対する質疑、各分科会での質疑を要約してお伝えする。



原状以上の改良復旧で = 鏡沼



いつまでつづく物価高騰

### 一般会計

本町財政は、依然として地方交付税への依存度が高く、交付の多さにより財政指数が大きく変動する。

人口減少による税収減、公共施設等の老朽化対策等、災害、社会保障関係経費の増大といった、将来の歳入減

少や歳出増加への備えとして、標準財政規模の一定程度の基金積み立てを目指すことも一手法である。経常収支比率は94・6%で3・1ポイント悪化した。財政力指数は、0・248で依存財源に頼る体質となっている。

### 国保事業会計

税負担の公平性を確保する観点から、早急に収納率の向上に向けた対策を実施し、効率

### 水道事業会計

漏水調査の実施により不明水が減少し、有収率は6・1ポイント上昇した。収益を確保するには、有収率の向上と未収金対策を計画的・継続的に実施する必要がある。

人口減少等で水需要の増加が見込めない中、類似団体と比較し高い料金水準にあり価格改定は困難である。また配水管などの老朽化が進んでおり計画的な布設替も必要である。

監査委員 嶋貫榮次・鈴木孝之

### ここが知りたい

#### 町債(借入金)の推移



### 基金の残高

	財政調整基金	町債管理基金
平成29年度	4億7642万円	2608万円
平成30年度	3億5996万円	989万円
令和元年度	2億2167万円	1369万円
令和2年度	4億524万円	7748万円
令和3年度	6億97万円	1億8163万円
令和4年度	5億982万円	1億1544万円

### 財政指標 令和4年度川西町一般会計等健全化判断比率

	実質赤字比率 一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合	連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合	実質公債費比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合	将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合	公営企業会計に係る 資金不足比率 資金不足の額が事業規模に占める割合	
川西町	-	-	12.60%	143.40%	-	
目標	早期健全の基準	14.16%	19.16%	25.00%	350%	20.00%
	財政再建の基準	20.00%	30.00%	35.00%	-	-

### 令和4年度各会計決算の認定状況

会計別	歳入	歳出	認定の内容
一般会計	132億671万円	125億993万円	全員賛成で認定
国民健康保険事業特別会計	17億4020万円	17億3217万円	全員賛成で認定
下水道事業特別会計	4億8285万円	4億7922万円	全員賛成で認定
農業集落排水事業特別会計	9944万円	9526万円	全員賛成で認定
介護保険事業特別会計	20億2247万円	19億7585万円	全員賛成で認定
後期高齢者医療特別会計	1億8364万円	1億8130万円	全員賛成で認定

水道事業会計	収益的 <sup>※1</sup>	4億6810万円	4億5442万円	全員賛成で認定
	資本的 <sup>※2</sup>	3364万円	1億9283万円	

※1 収益的収支は水道水の収入と支出、資本的収支は水道施設に係る収入と支出  
 ※2 不足する1億5918万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補填した。

# 括疑 総質

## 未収入特定財源、大幅増の要因は

神村建二議員

**神村** 一般会計決算収支において令和4年度の未収入特定財源が、前年度の二倍と大幅増になっているがその要因はなにか。

**課長** 未収入特定財源は、当該年度に収入されていないが翌年度に収入することが確定な特定財源である。

本町の場合、令和4年8月に発生した豪雨災害の復旧工事の多くが翌年度に繰越事業となった。この財源である国県支出金および町債の多くが令和4年度末時点で未収入となっているため、未収入特定財源が大幅に増加したものである。

## 繰越額・不用額の大幅増加の原因は

橋本 欣一議員

**橋本** 令和4年度の一般会計の繰越額が例年の倍の12億6149円、不用額は9937万円と大幅に増加している。8月豪雨の復旧事業が令和5年に繰り越されたものと思いがどうか。

**町長** 8月3日の豪雨災害の査定・設計等に期間を要したために令和5年度の事業として繰り越された。また、不用額については、コロナ禍、災害等で予定された事業が中止、縮小されたために使用しなかった事業費の積み重ねである。

## 広聴事業の取り組みは

高橋 輝行議員

**高橋** 大阪市では、「広聴ガイドライン」「広報マニュアル」を策定して広聴事業に取り組んでいる。ガイドラインのキーポイントは直接市民に対し迅速に回答することや、市民の声を広く聴き、情報共有すること、回答は14日以内にするこ

**町長** 町民の声を聴く機会として、町長とのふれあいトーク、町長への手紙、町長への直通便等を実施している。SNSの活用や広聴マニュアル等の先進事例を研究し、町民の声に対応していく体制づくりに努めたい。

# 町長に聞く

分科会の決算審査で、特に政策的な事項を町長に聞いた



## 各地区経営母体の運営は

第一分科会

各地区交流センターは、住民主体の総合的な地域振興を図る拠点施設として、各地区経営母体を指定管理者とし、管理運営事業を委託している。

町の財政支援については、施設管理経費とセンター職員の人件費を合算した指定管理料のほか、地区計画に基

づく事業推進のための協働のまちづくり地域支援事業交付金を交付している。さらに人的支援として、地区担当職員を配置し、各地区を定例訪問しながら情報共有や運営支援に努めている。

各地区では、災害に備えた自主防災組織の運営、介護予防事業の



地域づくりの拠点 = 東沢地区交流センター

## 昨年の災害復旧の状況は

第二分科会

昨年8月の豪雨では、道路・河川・橋梁の公共土木施設に大きな被害を受けた。発災直後から復旧工事の査定資料を取りまとめ、昨年11月に国の災害復旧査定を受け、道路10カ所、河川15カ所、橋梁2カ所の計27カ所が公共災害に認定され、実施設計を進め順次工事の発注を行っている。

また、水道施設は町内4カ所で被災が確認され、昨年11月の国による災害復旧査定を経て年度内に発注したが、年度末であったため5年度に予算を繰り越し、工事を進めている状況である。

**意見** 再被災対策を含め早期復旧に向けて、国、県などの関係機関とさらなる連携を強めること。



復旧工事が進む = 鏡沼排水路

## 8/7臨時会・9月定例会の議決状況

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
議員名	茂木 晶	鈴木 孝之	寒河江 寿樹	遠藤 明子	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	鈴木 幸廣	神村 建二	橋本 欣一	高橋 輝行	伊藤 進	井上 晃一
8/7臨時会													
損害賠償請求事件の和解及び損害賠償額の額を定めることについて	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	
令和5年度川西町一般会計補正予算(第2号)	-	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×	○	
川西町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×	○	
9月定例会													
高橋輝行議員の不適切な現金受領に関する問責決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※除斥	○	
高橋輝行議員に対する辞職勧告決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※除斥	○	

他の議案はすべて全員賛成でした。○は賛成、×は反対、-は欠席。議長は賛否に加わらない。

※除斥とは 本人に関する議決をする場合本人は議決できないため、退席となること

# フレンドリープラザ 老朽化の対応は



フレンドリープラザもう30年、全体の改修計画が必要

**問** フレンドリープラザの施設整備の状況は。

**意** 施設全体に経年劣化がみられる。修繕が必要な箇所について優先順位を決め各種修繕を行っている。

**意** 施設全体の改修計画が必要であり、特に屋根等の外観整備に早急に取り組むこと。

**問** 防災対策事業とは。

**意** 各地区自主防災組織への整備補助金である。

**意** 防災用品が数多くなってきたいる。関係課と連携し適切な保管体制を進めること。

**問** デマンド型乗合交通の現状は。

**意** 登録者が減少している一方、利用者数はコロナの状況の変化に伴い増加傾向にある。

**意** 住民がさらに利用しやすいデマンド交通となるよう努めること。

**問** 自治会活動推進事業とは。

**意** 自治会の在り方については、個別の状況を把握しながら対応している。

**意** 自治会の在り方の方向性を検討すること。

**問** 学区再編整備事業の結果は。

**意** 玉庭地区の要望を受け、玉庭小および小松小に学区再編検討委員会を設置し検討した結果、玉庭小を閉校し、小松小に統合する答申を受け、令和6年4月開校を目指す。

**意** 今後の小学校統合については、地域の考えを待つだけでなく行政として計画作りを検討すること。

# 市街地排水路の管理は適正か

**問** 市街地排水路の管理状況は。

**意** 市街地排水路の堀・中小松堀・天神堀の水質調査と合わせて大川の流量調査を実施し、白川土地改良区と取り交わした覚書の範囲内で試験通水を行っている。

**意** 3水路の環境改善に努めること。

**意** 住宅建設支援事業の内容は。

**意** 住宅リフォーム補助金交付件数は92件であった。

**意** 補助金の周知を強化し、町内業者の支援のためにも制度の活用を促すこと。

**問** 在宅福祉支援事業は。

**意** 高齢者等世帯の雪下ろし等に支

**意** 除雪費援助の手続きの簡素化や援助費用について、さらに充実を図ること。

**問** 女性農業者支援事業の成果は。

**意** 現在認定中の6人のうち5人が支援事業を活用している。

**意** 女性農業者が互いに連携しながら農業経営を拡充できるように、認定期間終了後の支援策を検討すること。

**問** 水道事業での石綿セメント管の更新は。

**意** 令和4年度に国採択を受け、5箇年計画で更新を進める予定であり、4年度は一般県道口田沢川西線配水

管更新工事の設計業務を実施している。また、5年度より4年間での

更新工事を実施し継続して石綿セメント管の更新を進める。

**意** 今後も石綿セメント管の更新を一層進めること。



整備が進まない排水路 = 中小松堀

次は補正予算

# 補正予算

# 町内初デジタル通貨導入

令和5年度一般会計補正予算(第3号)は、物価高騰による生産資材高騰対策支援経費や、デジタル地域通貨導入による電子商品券の発行、新型コロナウイルスワクチン接種、出産・子育て応援交付金、公共土木施設災害復旧工事が中心である。



30%プレミアム付きデジタル通貨(ダリヤPay)でお得にお買い物

## デジタル通貨

物価高騰対策として、令和5年度川西町プレミアム付電子商品券を発行する。1万円で1万3000円分が買える「ダリヤPay」は、町の加盟店よりキャッシュレスで買い物ができる、1ポイント1円のデジタル地域通貨で、町内初の取り組みである。

スマートフォンでのアプリ型と、あらかじめポイントがチャージされたカード型の2種類から選択できる。誰でも購入可能(ただし、カード型は町民に限る)1人3万円(3万9000ポイント)まで利用できる。

## 生産資材高騰対策支援事業

高騰する燃料費や肥料費が農業経営を圧迫し、今後も先行き不透明の中、継続して営農活動ができるようにするための農業経営費の支援対策である。面積要件10a以上(枝豆は60a以上)総事業費の1/2以内(上限10万円)である。

## コロナワクチン接種オミクロン株(XBB1.5)対応

新型コロナウイルス接種が9月20日から希望するすべての方を対象に開始。対応ワクチンで6カ月以上の乳児から、初回接種を終了したすべての方が対象となる。集団・個別接種どちらも対応。

## 主な質疑

**問** 財政調整基金管理事業の内容は、財政調整基金の積立てを行うものか。  
**答** 健全な財政運営を図ること。

**問** 尾長島工業団地の企業誘致推進事業の内容は、民間事業者から寄付を受けた用地を、引き続き用地活用を図る。適正な分譲価格とするために不動産鑑定を行うものか。  
**答** 早期売却に向けて条件を検討すること。

**問** 小学校消防用設備は何を修繕するののか。  
**答** のり面の測量設計業務委託の増額補正で、鏡沼の災害箇所と隣接するため、鏡沼の復旧計画に合わせた施工とすること。

**問** 鏡沼排水路の復旧工事とともに、十分な用地を確保し、早期再開に向け継続的に整備すること。

**問** 各小学校の感知器交換、防火シヤッター修繕、誘導灯電池交換等である。  
**答** デジタル地域通貨導入事業の内容は、町内の消費促進を図るため、「ダリヤPay」を活用したプレミアム付電子商

**問** ハーブ園の復旧工事の状況は、置賜公園施設災害復旧工事と、

**問** 鏡沼排水路の復旧工事とともに、十分な用地を確保し、早期再開に向け継続的に整備すること。

## 令和5年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第3号)	120億9970万円 (1億9470万円を追加補正)	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計(第1号)	16億9295万円 (674万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第2号)	4億7759万円 (1312万円を追加補正)	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計(第1号)	1億3万円 (412万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第2号)	21億4816万円 (4672万円を追加補正)	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計(第1号)	1億9114万円 (328万円を追加補正)	全員賛成により可決
水道事業会計(第2号)収益的支出	4億5505万円 (100万円を追加補正)	全員賛成により可決

## 一般会計補正予算(第3号)の主な内容

(歳出)	
出産・子育て応援交付金 補助金	300万円
生産資材高騰対策支援事業 補助金	1076万円
デジタル地域通貨導入事業 使用料等	209万円
公共土木施設災害復旧事業(単独) 工事請負費	1400万円
(歳入)	
国庫支出金	954万円
県支出金	1590万円

## こどもたちが健やかで幸せに成長できるように川西町議会

### こどもまんなか応援サポーター宣言

こども家庭庁が掲げる「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、令和5年6月に山形県知事がこどもまんなか応援サポーターに就任した。

「こどもまんなか」とは、子どもや若者の意見を聴き、また、その意見を尊重し、子どもや若者にとってよいことは何かを考え、自分ができるアクションを実践していくこと。

県では、赤ちゃんや小さな子どもたちと安心して外出できる環境整備と、子育て支援や若者が活躍できる環境づくりなど「子育てするなら山形県」の実現に向けた取り組みを進めている。川西町議会は、県の趣旨に賛同し、より良い子育て支援につながるよう活動していく。

# 人事

## 教育委員会委員の任命に同意

鳥貫由実教育委員が9月30日で任期満了のため提案され、同意した。

### ●鳥貫 由実

(再任) 洲島

平成28年10月に川西町教育委員就任(3期目)職業 児童クラブさきらり支援員(吉島地区の放課後児童クラブ)

全員賛成により同意



## 人権擁護委員の推薦に2人を同意

令和5年12月31日をもって任期満了のため提案され、同意した。

### ●貝沼 新八

(再任) 3期目

川西町大字玉庭

全員賛成により同意

### ●高橋 佳子

(再任) 3期目

川西町大字西大塚

全員賛成により同意

# 議員辞職勧告決議

議会初日の9月1日に2度目の問責決議を決議・可決したが、高橋輝行議員から説明がなかったため、最終日に辞職勧告の決議を行った。

## 提出理由

川西町議会に対する町民の信頼を著しく失墜させた。高橋輝行議

員の責任は重く、断じて許されるものではない。自らの意思と責任において町議会議員を

発議者 遠藤 明子  
賛成者 橋本 欣一 鈴木 幸廣  
寒河江寿樹 鈴木 孝之  
神村 建二 茂木 晶  
吉村 徹 渡部 秀一

## 高橋輝行議員に対する辞職勧告決議

高橋輝行議員は、本年2月、空き家バンクの仲介と称して、手付金100万円を受領した。その後、売り手、買い手側から議員本人との連絡が取れなくなったことにより、買い手側の親戚より、各議員に対し事態の收拾依頼の手紙が届いた。同時に各報道機関にも本件の情報が流れた。結果、高橋輝行議員の不正受領が、町内外に知れることとなった。その後、返金されたというもの、一連の行為は許されるものではない。川西町議会では全会一致で2度にわたり、説明責任の追及のための問責決議を可決した。しかし、その履行はされていない。

今回の行為は町民の信任を受けた町議会議員としての自覚を欠く行為であり、川西町議会政治倫理に関する決議に反するものである。

議員一人の問題にとどまらず、川西町議会に対する町民の信頼を著しく失墜させたことの社会的、道義的責任は重い。

よって、川西町議会は、議会への町民の信頼を回復するため、自らの意思と責任において高橋輝行議員の議員辞職を勧告するものである。

令和5年9月20日

川西町議会

全員賛成により可決

# 負約 請契

## 花丘町下小松線防雪柵設置工事変更請負契約の締結

《変更金額》  
726万円(増額)  
(変更後の総額)  
6688万円

### 《受注者》

株式会社 殖産工務所

### 《工期》

令和5年11月30日

## 町民総合体育館耐震補強工事請負契約の締結

《請負金額》  
2億3650万円

### 《受注者》

株式会社 殖産工務所

### 《工期》

令和6年3月19日

### 《内容》

3階ギャラリイ・屋根面の鉄骨ブレース交換、2階アリーナのアルミ製格子天井撤去、鉄骨ブレースの補強工事等。この工事により令和5年10月1日より令和6年3月31日まで休館となる。



耐震補強が待たれる = 町民総合体育館

# 請願

## 請願第2号

JR羽前小松駅の東西区域をスムーズに往来できる自由通路の整備推進にかかる請願

### 請願者

東西自由通路を実現する会 園部 義一

### 紹介議員

茂木 晶

### 所管委員会

高橋 輝行  
総務文教常任委員会

羽前小松駅の東西のアクセスについて、利便性の向上が求められている。第3次川西町総合計画以降整備は行われていない。実現に向け引き続き検証する必要がある。

### 審査結果 採択。

全員賛成により可決

# 問責決議

## 高橋輝行議員の不適切な現金受領に関する問責決議

令和5年6月16日議決の問責決議について正式な説明がなされていない。議員としての自覚と責任ある行動を強く求め、再びここに問責決議をあげる。

一、町議会本会議もしくは全員協議会において、当該空き家の管理および手付金受領に関する説明をすること  
一、町民に対しても同様の説明責任を果たすこと

一、上記の件については、令和5年9月定例会中に履行すること

令和5年9月1日

全員賛成により可決

# 条例

## 川西町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更したことに伴い、当該感染症に対する特殊勤務手当を廃止するもの。

全員賛成により可決

## 川西町都市計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について

川西町都市計画審議会委員構成を見直し、町民の参画機会を拡大するため。

令和5年9月1日

全員賛成により可決

川西町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について  
町立小学校の学区再編により、川西町立玉庭小学校を閉校するもの。

全員賛成により可決

## 玉庭小廃校の説明と今後のスケジュール

小松小学校および玉庭小学校による開校準備委員会を令和5年5月22日に設置。令和6年1月まで合計4回開催し、4つの専門部会を5月から11月まで4回開催する。また、5月から12月まで当該学校間の交流事業を実施する。

町は、準備委員会の報告を受け最終確認を行う。令和6年3月に玉庭小学校閉校式を行う。

# 次は一般質問

マイナンバーカード

## マイナンバーカードの取得状況は

### 町長 一 国・県の平均を上回っている

**吉村** マイナンバーカード取得状況は、交付率は、今年7月末日現在79・3パーセントであり、1万941人が所持しており、町は、国・県の平均を上回っている状況にある。

**町長** 全国的に、コンビニサービスにおける誤交付、公金口座の別人への付与など、マイナンバーカードをめぐるトラブル事案が報じられているが、本町でトラブル事案はないか。

**町長** 本町でのトラブル事案は確認されておらず、現時点で

**町長** はトラブルによるマイナンバーカードの返還はない。

**吉村** 取得しない方への対応は。

**町長** 取得しない方の多くは、施設入所者や高齢者で、手続きが煩雑なため申請しないなどの事由を聞いており、今後とも、町民に対し広く周知を図り取得向上に努める。

**町長** 現在の保険証の廃止はどうなる。

**町長** 国は、令和6年秋に被保険者証を廃止し、マイナンバーカードによるオンライン資格確認を基本としている。オンライン資格確認を受けること

ができない方については、具体的な内容は未定であり、方針が示された段階で検討を行っていく。

**町長** 物価高騰対策

**吉村** ガソリン価格、電気、ガス代、食品など生活に欠かせない商品等の物価高騰対策は。

**町長** 町民生活や、商業者にとって大きな負担となっているものと思慮している。このため、国の「電力、ガス、食料品等価格高騰重点支援地方交付税」、また、県の補助制度を活用した取り組みを行っていく。



吉村 徹 議員



マイナンバーカード、トラブルなく利用できるか

**町長** 異常気象による猛暑策は。

**吉村** 昨今の異常気象による温暖化対策は、世界的課題であり、集中豪雨や大型

台風など気象災害が頻発しており、待ったなしの地球温暖化を食い止めるために、私たち一人ひとりが「自分のこと」として負担を抑えられるよう情報を共有し、取り組んでいく。

# 町政をただす



## 7人の議員がするどく一般質問

定例会第4日目・第5日目に一般質問が行われ、7人の議員が町政について質問しました。(発言順)に掲載します。

<p><b>吉村 徹 議員 (15ページ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① マイナンバーカード</li> <li>② 物価高騰対策</li> <li>③ 異常気象による猛暑</li> </ul>	<p><b>遠藤 明子 議員 (19ページ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 温暖化対策</li> <li>② 小中学校における熱中症対策</li> <li>③ 小学校再編</li> </ul>
<p><b>橋本 欣一 議員 (16ページ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 第9期介護保険事業計画</li> <li>② コロナ後の町内の経済状況</li> </ul>	<p><b>寒河江 司 議員 (20ページ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ふるさと納税</li> <li>② 町職員の自死に対する町長の責任</li> </ul>
<p><b>茂木 晶 議員 (17ページ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 子育て支援</li> <li>② 旧役場跡地活用</li> <li>③ 公共施設の管理</li> </ul>	<p><b>高橋 輝行 議員 (21ページ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 行財政改革(数値目標設定)の取り組み</li> <li>② 治水対策(内山沢地域)</li> <li>③ 損害賠償請求事件(遅延損害金)</li> </ul>
<p><b>鈴木 孝之 議員 (18ページ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 2026水田水張問題</li> <li>② 小学校再編整備計画</li> <li>③ 空き家対策</li> </ul>	<p>一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見ることができます。(https://www.town.kawanishi.yamagata.jp)</p> <p>①抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかったもの。</p>

まちの未来が見える(9月定例会の傍聴者は7人)  
**議会傍聴においでください**  
 次回定例会は12月です

どなたでも傍聴できます(事前連絡は不要です。役場3階においでください)  
 定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



## 一般質問

### 介護

#### 介護保険はどう変わる

##### 町長ー詳細は未定である



橋本欣一 議員

25年問題で介護対象者が増えると思われる。施設数、介護職員不足処遇改善が求められているが町内状況はどうか。

**町長** 本町の65歳以上の人口は、2020年末の5607人をピークに減少しており、2023年7月には5529人となり、地域の実情に合わせた計画とする。

**橋本** コロナの5類指定以降も経済状況は回復していない。現状把握、さらなる支援が必要だ。対応は。

**町長** 業種により異なるが、製造業などでは円安などもあり好転している企業もある。

**橋本** 飲食業は夜間の来客が戻らず、まだまだ影響が残っている。物価高騰もあり、消費喚起のためデジタル地域通貨「ダリヤPAY」を導入し、30パーセントポイントのプレミアム付電子商品券を販売し景気回復の一助としたい。



100歳体操で介護予防 = 塩ノ沢公民館

**橋本** 来年度から第9期介護保険事業が始まる。大きな制度改善があると聞く。サービス利用者負担が、一定所得のある方は2割負担に。ケアプランの有料化、要介護1、2の高齢者の訪問看護・通所介護を介護保険からはずし、町の地域支援事業に移行、介護職員配置基準の緩和でサービスの低下などが揚げられている。

**町長** 第9期の計画のためにニーズ調査を実施したがその特徴は。コロナ禍のもと外出機会の減少、運動機能・口腔機能の低下、うつ傾向、転倒のリスク該当者が増加。相談する相手がいない方の割合が増加するなど、社会参加・地域とのつながりの希薄化がうかがえる。施設等の入所入居への検討は、55パーセン

トの方が考えていないとある。在宅介護希望の方が多く、適切な提供体制が求められている。  
**橋本** 介護保険の改正点はどうか。  
**町長** 改正点は先送りされており、結論は出ていない。これまでの議論で示されている見直し案で計画を進めている。

**橋本** 団塊の世代が75歳を迎える20

**茂木** 子育て支援センターを各地区に1つの割合で整備すべきでは。

**町長** 施設整備費用や保育士等の人員確保等の課題もあり、現有施設の充実を図るとともに、周知・PRに努め、一層利用しやすい施設を目指す。

**茂木** 冬季間の室内遊戯場がないこと大変なストレスになっている。他市町のような大型の室内遊戯場を整備してはどうか。

**町長** 現在整備を進めている「川西町地域振興拠点施設」内において、子育て世代

の親子が交流できる「親子スペース」を設けるとともに、「ホール」や「ホワイエ」を交流の場として活用してほしいと考えている。

**町長** 指定管理者の募集は原則一施設ごと公募により行うものとされているが、設置目的の効果的な達成が思量されるときは、公募によらず選定することができ。現在の小松地区交流センターの指定管理者である小

**茂木** 「川西町地域振興拠点施設」は、小松地区交流センターにおける地域づくり等の役割は、利用者が主体となる機能を明確にしているため、全てを押し付けるものではない。  
**茂木** なぜ、商工会がらの入居依頼を

**町長** 基本計画において一定の延床面積を設定していることや町民ワークショップにおいて基本設計素案を取りまとめることとしていた。その中の議論を踏まえ決定した。

**茂木** 指定管理者はどのように決定されるか。

**町長** 指定管理者の募集は原則一施設ごと公募により行うものとされているが、設置目的の効果的な達成が思量されるときは、公募によらず選定することができ。現在の小松地区交流センターの指定管理者である小

松地区地域振興協議会を想定している。  
なお、現在まで指定管理者の選定にあたって公募による指定はない。

**茂木** 公立置賜川西診療所の耐震基準は満たされているか。  
**町長** 耐震診断を行っていないため耐

震基準を満たしているかは不明である。  
**茂木** 公立置賜川西診療所の建て替えや移転は検討されているか。  
**町長** 庁内に検討委員会の設置し診療所の現状調査や課題分析を行い施設整備について検討している。

## 各地区に子育て支援センターを

### 町長ー現有施設の充実を図る

#### 子育て



茂木 晶 議員



子育て支援センターこあら(吉島)の利用も進めよう

## 一般質問

### 水田活用

#### 水田水張り問題は

#### 町長一國・県に声を届ける



鈴木孝之 議員

**鈴木** 水田活用産地づくり推進プロジェクト会議の方向性は、

**町長** 県内の農業関連団体や県内4地域の4市町が構成員として参画（置賜地域からは本町が構成員となる）し、会議の運営が行われている。プロジェクト会議では、水田活用の直接支払交付金の交付対象農地の状況や、水田水張り問題を含めた県内各

地の課題を整理し、取りまとめる。

5年に一度の復田や水張りがもたらす喫緊の課題として、水稲以外の生産圃場では、復田・水張りをする場合の畦畔の再構築、その後には作物を伴付する際の排水対策で二重に経費が発生する。また復田・水張り後に作物を生産することにより作業効率が悪化する等、生産コスト等が増加し、

農業経営を圧迫する事が考えられる。

これらの問題を踏まえ、本町では水田活用産地づくり推進プロジェクト会議をはじめ、国や県が開催する会議、その他さまざまな場面で国と県に対し生産現場の声をしっかりと届けていく。

**学校再編整備計画は、**

本町では、これまで東沢・高山小学校がそれぞれ統合した経過があり、現在は玉庭小学校の統合に向けて準備を進めている。これらの学区再編の進め方としては、平成25年に設置した「あすの川西町の小学校を考える協議会」の答申を受け、平成27年に「川西町立小学校再編整備

計画」を策定し、学区再編の基準とルールを定めた。

その基準とルールについては、「複式学級となっている学校」や「将来的に複式学級が見込まれる学校」、「地域や保護者から検討の要請を受けた学校」から検討する事としている。

**鈴木** 小学校屋内運動場洋式トイレ整備計画は、

学校施設における洋式トイレ設置は喫緊の課題と捉えており、学校教育のみならず、災害対応も視野に入れながら、計画的な整備に取り組んでいく。



今年の出来秋はどうか = 置賜農高実習田

### ゼロカーボンの取り組みは

#### 町長一 長期的視点で継続していくことが大切である

### 脱炭素社会

**遠藤** 町は、令和2年度に「川西町ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年までに二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量ゼロを目指しているが、町民にその取り組みが浸透していないように感じ

**町長** 脱炭素社会を実現するため「川西町地球温暖化対策実行計画」を策定した。地球環境への負荷を抑え、温室効果ガスの排出量の削減に向け取り組む計画である。誰もが環境問題を理解し行動していくことが求められており、特に、

ゼロカーボンの取り組みは長期的な視点で継続していくことが大切である。

**遠藤** 生活ごみの削減など私たちの身近なことだと関心を持ち、自分のできることが意識できる。丁寧な周知やPRが必要では

**遠藤** 今後ますます少子化が進む中、子どもたちが安心して学べる環境づくりが急

がれる。小学校再編をどう考えているのか。

**町長** 学校再編の基準とルールは「複式学級となっている学校」や「将来的に複式学級が見込まれる学校」「地域や保護者から検討の要請を受けた学校」から検討すると定めている。

**町長** 大塚小プールは改修されるが、今後、各学校のプール

**遠藤** 小中学校における熱中症対策はどうか。

**町長** 小学校では、遠距離通学者の下校時に暑さ指数を測定し、厳重警戒を越えそ

**町長** 教職員の負担軽減や施設の老朽化の状況を鑑み、学校の相互利用や民間施設の活用を視野に慎重に検討していく。

うな場合は、教職員の巡回や保護者に送迎を依頼している。

中学校では、登下校時には運動着の着用を許可し、熱中症警戒アラートが出た場合には部活動を中止している。

小学校再編をどう考えるか



遠藤明子 議員



EV充電ステーションの利用はまだだ = 町庁舎前

## 一般質問

### ふるさと納税

#### ふるさと納税のルール変更を問う

#### 町長―総務省の変更、見直しを遵守する



寒河江司 議員

**寒河江** 令和4年度のふるさと納税額はいくらか。

**町長** 昨年度は2億456万円であった。

**寒河江** 豪雨災害時に返礼品のないふるさと納税があったが、今も継続しているのか。

**町長** 現在も継続中で協力をいただいている。

**寒河江** ふるさと納税制度のルール変更

を10月から行うにあたり、過度な返礼品競争を防ぐため、経費上限を50%以下にしなればならないが、町の実情はどうか。

**町長** 経費総額は付随費用等を含め、5割以下にしている。

**寒河江** 寄付の受領証明書が発行費や寄付者の確定申告が不要となる事務手続きに要する費用等どの位増えるのか。

**町長** 経費総額は付随費用等を含め、5割以下にしている。

**町長** 経費の1%（1・2%の増となり中間業者への委託内容や広告費の見直しを行い、返礼品の価格を調整することなく5割以下となるようにする。

**寒河江** 地場産品基準の改正で加工品のうち熟成肉と精米について、原材料が当該自治体と同一の都道府県内産である物に限り返礼品に認めるという改

**町長** 経費の1%（1・2%の増となり中間業者への委託内容や広告費の見直しを行い、返礼品の価格を調整することなく5割以下となるようにする。

正だが該当しない品はあるのか。

**町長** 基準に合わなくなったものが3件あったので、返礼品提供事業者と協議をして10月より返礼品から外す。

**町職員**の自死に対する町長の責任を問う

**寒河江** 8月18日に山形地裁において和解が成立し、遅延金も含めた損害賠償金を財



井上ひさしコーナーもふるさと納税の返礼品として新設

政調整基金から支払いをしたわけだが、大切な税金を使うかわりに職を辞する考えはないか。

**町長** かけがいのない命を、組織として守りきれなかったことに対し、真摯に受け止め、職を辞して責任を取る事も考え、熟慮を重ねた。

現在私に与えられた使命は、町民が住みやすいまちづくりに全力を尽くし、今後二度と痛ましい事件を発生させない職場環境づくり

**町長** かけがいのない命を、組織として守りきれなかったことに対し、真摯に受け止め、職を辞して責任を取る事も考え、熟慮を重ねた。

**寒河江** 町民は、町長の給与50%減6カ月間で責任を果たす事に納得するか。

**町長** 繰り返しになるが、ご遺族や町民への失った信頼を取り戻し、批判や叱責に対して誠実に対応していく。

**寒河江** 来年の町長選挙は辞退するのか。

**町長** 現段階では白紙のまま。

の変動があることから、一律の数値目標を示すことは困難であると考えている。しかし、財政の健全性を維持することは重要なことなので、財政調整基金について一定程度の確保を図っていく。

**高橋** 芳賀町は目標数値が細かすぎてわかりやすく検証しやすい大きな事業については別口にして数値目標を設定している。同じようにやるべきと思うかどうか。

**町長** 芳賀町は、しっかり目標をたて大きな事業のときは基金を造成している。本町は施設の老朽化が多

くあり財源確保にあたり過疎債で対応しているが、将来に向けて平準化を図っていく。

**高橋** 元職員のご遺族には、哀悼の意を表すとともに心から冥福を祈る。早期解決すれば、遅延損害金は発生しなかったのではないかと。

**町長** 結果として7年以上という歳月を要した。

## 治水

### 内山沢地域の総合排水対策は

#### 町長―流域全体の治水対策を検討

**高橋** 内山沢地域の総合排水対策（令和4年11月22日全協答弁）について、ため池機能強化をしていくとともに、もう一つ都市の排水、治水計画（小松地区の総合的な都市災害防止対策のための総合的な治水対策を検討すること）に一体的に取り組んでいくとの説明があったが、その後どのようになっているのか。

**町長** 鏡沼の破堤を招いた内山沢流域からの排水については、復旧検討会において検討を進めた。災害復旧事業により復旧するだけでは今後の地域防災

として不十分であり、各施設の機能強化を図っていくとともに、内山沢流域全体の治水対策の検討が必要である。去る7月26、27日に常任委員会

で、栃木県芳賀町に行財政改革の取り組みについて視察して来た。振興計画の施策を体系化し、それぞれの施策の方針と目標を定め成果を図るための指標を設けていた。大いに参考となると思うが、数値目標を示すことについて尋ねる。

**町長** 財政面での数値目標を示すことは、年度によって予算規模や投資的経費など



復旧事業が進む = 鏡沼

次は委員会レポート

# 委員会 レポート

## 財政調整基金の在り方は

総務文教常任委員会

令和5年7月26、27  
日視察研修を行った。

### 芳賀町

#### 行財政改革と 財政調整基金

事前に①行財政改革の取り組み状況 ②財政調整基金の考え方などについて質問状として送り、回答をいただいた。



財政改革の先進地視察 = 芳賀町議場

「行財政改革の取り組み」は、プランの策定・実践を平成22年度から平成22年度の期間とし、職員数（人口100人当たり1名を目標）の削減、公共施設の統廃合、借地の解消、民間委託（幼児施設管理、給食調理業務・町有バス運転業務等）・指定管理者などによる歳出削減を行ってきた。財政調整基金の運用については、標準財政規模の10%程度を常時保有できるようにしている。振興計画に基づく財源準備金の積み立てを実施している。例えば第6次振興計画のLRT整備費については、一般財源として最大10億円が必要であり、複数年にわたり積み立てを実施した。

## 産業振興で地域づくりを

産業厚生常任委員会

令和5年7月24、25  
日視察研修を行った。

### 遠野市

#### 地域資源を活用した 活性化事業

近年は遠野市周辺も高速道路が整備され、人や車の流れも変化してきており、地域経済活性化機構（REVIC）による民間の力をうまく取り入れながら、観光振興と産業振興両面から挑戦を続けていることを強く感じた。

### 大槌町

#### 商業の再生と振興策 を学ぶ

東日本大震災による国、県、町連携による支援メニューを計画し再生を実現した。住民の住宅再建を最優先に



泳ぐ、泳ぐ、大槌サーモン = 岩手県大槌町試験養殖施設

実施した結果、被災前海岸部にあった水産加工会社が近隣の市町村に移転した。一方、新規起業が5社転入した。産業振興の新たな取り組み  
令和2年度より地方創生推進交付金を活用し、ジビエ肉（大槌鹿）を活用した交流人口拡大とPR発信を実施した。  
岩手大槌サーモン生産開始。令和元年地元建設業者による中間育成開始。令和4年（株）ニッスイ試験養殖、事業化へ移行。令和5年水揚げ実績670t、目標2000tに生産拡大中である。  
産業振興課内に新たな班を創設し、ふるさと納税・地域おこし協力隊・移住定住に取り組んでいる。

# 臨時 議会

## 元職員過労死事件 僅差で可決

8月7日臨時議会が開かれ、職員遺族による損害賠償請求事件の和解に伴う賠償金のため的一般会計補正予算および責任者として報酬の減額などの議案を審議。採決の結果、賛成多数でいずれも可決されたが僅差の可決で、議会としても苦渋の選択となった。

### 議決内容

関連議案は3件。「損害賠償請求事件の和解及び損害賠償額を定めることについて」は賛成9反対2で可決。

賠償額を支払うための「一般会計補正予算」は、賛成6反対5で可決。

事件の責任を問う「川西町の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定」は賛成6反対5で可決であった。（P6賛否表参照）

### 議案に対する質疑

**問** 不幸な事件であった。ご遺族に心からお悔やみを申し上げる。

**答** 損害賠償額の内、遅延損害金がある。職員の不幸から7年も経ち、早期に解決すれば、ご遺族の気持ちの上でも整理がつき、遅延金も少なく済んだのではないかと。

**町長** 平成28年6月に職員逝去後、令和4年遺族代理人から公務災害に認定されたことにより損害賠償お

よび未払金の請求があり、その後訴訟となつて現在に至っている。事態の認識に甘さがあった。

**問** 責任の取り方について、人の命の尊厳を考えれば、町長の給料50パーセント減6カ月では軽すぎるのではないかと、職を辞して責任を取るべきではないかと。

**町長** 責任を痛感している。こういった事件が2度と起こらないように、業務改善を図ることが責任を全うすることだと考える。

# 全員 協議会

### 7/29 損害賠償請求事件の和解勧告

元職員の自死が公務上の災害認定を受けた事で、氏の両親が損害賠償請求する訴訟を提起。

裁判所より和解勧告が提起されたものである。

### 9/5 意見交換会の取りまとめ

「子どもまんなか応援サポーター宣言」

### 9/15 行政評価、指定管理者の評価結果および選定方法、

置賜広域行政臨時会概要報告、置賜広域病院企業団概要報告、議員派遣事業、政策提言までのスケジュール等。

## 広報モニターから ひとこと②

中郡 黒澤 秀夫 さん



弁するわけではないのですが、議場に入る前から大変緊張しました。今、世界では戦争や言論統制等、人々を不幸に追いやる事柄が起きています。議会で審議される内容もさることながらお互いの意見を聞き、尊重しながら話し合おうとする姿勢が感じられました。議員側も町当局も安全で安心して暮らしているまちづくりのために努力を重ねていることに改めて心強く思いました。

当たり前のことを当たり前にできる事に感謝する一日となりました。

恥ずかしい話ですが、この歳になるまで町議会を傍聴したことがありませんでした。9月定例会の5日目の一般質問を傍聴しました。私が質問をしたり答

## 次は意見交換会

## こんな質問・要望がありました

地区名	月日	会場	参加者	議員 (先頭が班長)
犬川	8月18日	犬川地区交流センター	6人	井上晃一、高橋輝行、神村建二、吉村徹、寒河江司、渡部秀一、茂木晶
玉庭	8月21日	玉庭地区交流センター	9人	
吉島	8月18日	吉島地区交流センター	9人	伊藤進、橋本欣一、鈴木幸廣、遠藤明子、寒河江寿樹、鈴木孝之
東沢	8月21日	東沢活性化センター	12人	

	質問、要望、意見	質問等への回答、今後の対応
1	<p><b>1、防災・減災対策について</b></p> <p>○水害時、近くの公民館を避難所として開けてもよいか。</p> <p>○災害時の情報を速やかに伝えてほしい。</p> <p>○内水氾濫に対する対応として、大型のポンプの設置はできないか。</p>	<p>●(持ち帰り回答)</p> <p><b>【安全安心課】</b> 水害時は指定緊急避難場所を町内に12カ所、指定避難所を6カ所設定し、緊急時に備えている。しかし、さまざまな状況により指定避難所等への移動が困難である場合には、自治会の公民館を一時避難場所として活用して構わない。公民館の管理者と事前に相談し、有事の際に円滑に開放できるよう調整してほしい。</p> <p>●災害は、個別に判断できない場合が多い。基本的には自分の命は自分で守るのが第一。家庭ごとにさまざまなケースを想定して、どのような対応をすべきか日頃から考えておくようお願いしている。またそれを自治会単位でもお願いしたい。議会からも避難所の増設など行政に要望していき、安心安全を守っていきけるよう努力したい。</p> <p>●国土交通省のポンプが1台から2台になった。黒川・誕生川に対応できるようになる。</p>
2	<p><b>2、災害復旧の現状と対応について</b></p> <p>○万福寺川河川測量工事予算がついたが、工事の距離、期間については。</p> <p>○防災無線や防災ラジオを高齢者宅に設置するなどの取り組みは非常に良いと思うが、実際に大雨の際、機能しているのか。</p> <p>○防災無線を放送するには、現地に行くしか方法はなく危険であり、交流センターなどの避難所から一斉放送できるようにしてほしい。</p> <p>○災害復旧工事に関する補助金は、原状復旧なので、被害が繰り返される恐れがある。今後被害にあわないさら上の工事をお願いしたい。</p>	<p>●(持ち帰り回答)</p> <p><b>【地域整備課】</b> 令和元年の台風19号による万福寺川の堤防越水および周辺住家の浸水被害を受け、堤防の嵩上げ造成について検討し、用地境界立ち合い等の準備をしていたが、昨年8月3日の大雨災害による全町的な災害復旧によりやむなく中断している。これまでの堤防造成計画を見直し、あらためて万福寺川の河川断面等の検討を行った。本事業については相当な事業費が見込まれることから、複数年による事業遂行となる。</p> <p>●(持ち帰り回答)</p> <p><b>【安全安心課】</b> 災害時等の広報は、一斉情報発信システムを経由して防災無線をはじめLINEや登録制メール等各媒体に配信しており、その媒体のひとつとして高齢者宅等に配備した戸別受信機からは、町からの情報が音声で聞こえるように設定している。今後、追加が必要な方への戸別受信機の配備についても、検討していきたい。</p> <p>●防災無線の集中管理について、玉庭は3カ所(交流センター、御伊勢町、朴沢)ある。それぞれ現場まで行って放送しなければならぬ件については、集中管理できるようにしてほしいと町当局に伝えていく。</p> <p>●今後は、原状復旧工事ではなく、改良復旧工事実施に向けて国・県・町へ要望していく。</p>
3	<p><b>3、コロナ後における生活環境について</b></p> <p>○2類から5類になったことで、医療費の負担が増えないか。医療費増額に対し、町から補助はないか。</p> <p>○一人暮らしの老人が多くコミュニケーションが少なくなった。</p>	<p>●家庭内で感染予防に努めてほしい。町からの補助はない。</p> <p>●一人暮らしの老人が孤立しないように、地域でコミュニケーションを取ってほしい。</p>
4	<p><b>4、その他</b></p> <p>○メディカルタウンについて、これからの展望や考え方はどうか。</p> <p>○全国的に7軒に1軒が空き家との情報があるが、川西町の状況はどうか。</p> <p>○職員の過労死による自死に係る損害賠償金支払いについて了解したと聞いたが、予算はどこから支出なるのか。一般会計からの支出になることを町民の方は納得するのか。議員は納得したのか、町民の税金負担になるのか。町長が退職金で支払う必要があるのではないか。全国的な事例はどうなっているか。</p> <p>○川西町へ是非企業誘致してほしい。</p>	<p>●第一期で、宅地造成と商業施設の誘致。第二期は、南側に計画している。民間企業が出店しやすい環境を整備していくべきと議員間で話しており、具体的な動きに繋げていきたいと考えている。</p> <p>●空き家バンクへの登録は約300件と聞いている。</p> <p>●裁判所にて和解の協議が成立したとの報告を町当局より説明を受けた。財源は、一般財源で財政調整基金からの支出となる。(P23参照)</p> <p>●企業誘致については、現在コロナ関係等の影響により会社経営も厳しい環境に置かれているので、誘致については、いろいろな角度から考え、積極的に企業誘致に取り組んでいきたい。また、町当局へ強く要望していく。</p>

次は街かどインタビュー

意見交換会

4会場で開催

防災・減災・コロナ対策で意見



吉島地区



犬川地区



東沢地区



玉庭地区

町民との意見交換会が8月19日、21日の両日開催された。コロナ禍で4年ぶりの開催となった。

今回は犬川・玉庭・東沢・吉島の4地区で行われた。

意見交換会は、議会基本条例で定められた最重要項目の一つである。議員各自は議員活動の中で、地域の課題や個人の相談などの解決に向け努力をしている。しかし、大きな地域課題や政策的な事項に関しては議会として取り組んだ方が解決できる場合が往々にしてある。

本町議会では、意見交換会の成果をまとめ

町に対し政策提言をしている。さらに、提言の執行状況を1年後に検証している。提言を一方通行としない点は、知る限り全国でも唯一である。

**直近の課題を意見交換**

今年は、昨年の豪雨災害の状況とその対応、3年間自粛の続いたコロナ後の生活環境の変化をテーマに話し合われた。

甚大な被害が発生した豪雨被害では、住民と行政のつなぎ役が、非常時に十分に機能しないなど議会として災害時の対応の仕方が問われた。

また、コロナ後の生

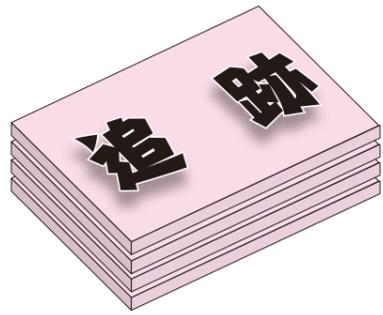
活環境の変化では、人の集まりが再開され始めたものの、いまだ抵抗があることや、事業の再開の方向性がなかなか見いだせないなどの不安が出された。

ご協力いただいた地区交流センターと参加者の皆さん、関係者に感謝いたします。

### 『政策提言』手交へのご案内

第10回目の政策提言書の提出・手交式に町民の皆さんの傍聴をお願いします。

とき 10月31日(火) 9:30 (予定)  
ところ 川西町議会議場



# あれから…… どうなった！



旧高山小校舎 再活用で生き返る

平成30年3月に閉校となった高山小学校の活用が始まった。社会福祉法人山形県社会福祉事業団「希望が丘地域福祉支援センター」が、本年6月に

希望が丘から移転し、同小学校を障がい者施設として法令に基づき改修し、置賜地方にある法人内事業所の一部を再編し事業を行っている。

事業内容は  
①希望が丘デイサポートまつかぜ（生活介護事業所 定員30人）  
②希望が丘共同生活事業所（介護サービス包括型生活介護事業所）  
③川西共同生活事業所グループホーム4カ所定員30人、川西町内8カ所のグループホームが点在し、あわせて定員59人の利用者が生活する事務所として活動する。  
また、令和6年4月から③サポートセンターおきたま（長井市）の相談支援事業所の川西町の分と④梓園（米沢市）の相談支援事業

## 旧高山小学校貸与 社会福祉事業団 障がい者福祉の指令塔に活用へ

所高畠町分を新設して事業を開始し、さらに⑤サポートセンターおきたま内の障がい者就業・生活支援センターが移転する。他に地域の方と話し合いながら⑥地域の交流とニーズに沿った事業の展開を検討する。この事業の開始に先立ち同施設の改修工事が実施された。主な工事内容は玄関スロープ、空調工事、給排水、エレベーター設置、トイレ改修、消防関係工事など多岐にわたる。このように新しくなった施設で川西町、置賜全域、山形県の障がい者施設の司令塔として、活用されることを期待したい。

# いいね！かわにし 街かどインタビュー

**鈴木まどかさん(犬川)**  
町内で開催されるイベントは地域の賑わいづくりや交流の場になるので、町内外からもっとたくさんの方に来てもらえるようになりたいですね。新しいイベントももちろんですが、伝統的な行事もとを継続していくための人づくりや、働き世代・子育て世代にも町の情報が行き届くような仕組みづくりが大切だと思います。



**金子 義市さん(小松)**  
2014年から歩行者天国を始め、10年が経過し駅前賑わいや中心市街地の活性化に取り組んできた。米坂線（米沢〜今泉間）が2026年に100周年を迎え、2036年には全線の坂町までの区間で開通100周年を迎える。米坂線復旧への思いも兼ねて魅力的な町にみんなで創り上げたい。



**後藤 愛美さん(小松)**  
友達が多くないので児童で遊ぶことが多い。子どもが遊べる室内施設があればいいですね。イベントがあれば子どもと一緒にきて楽しんでいますが、できれば自分も参加しながら町を盛り上げていきたい。



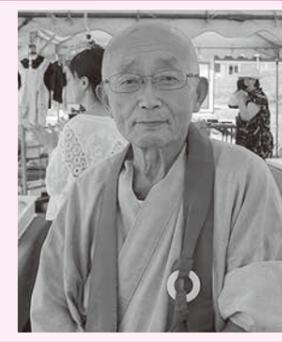
**管 惟さん(吉島)**  
ハンドメイド等小物の作品作り、町のイベント等に参加している。芝のある公園を会場にできれば最高。子育て世代は子どもが安心して遊べる場所があると人は集まってくると思う。大人の遊び場として、キャンプ場があるといいな。産業フェアにもハンドメイドで参加予定なので声を掛けてね。



**佐藤 唯さん(町内)**  
**菅野 琴美さん(長井市)**  
**沼 心乃さん(米沢市)**  
米坂線復旧署名活動をしています。署名活動は初めてです。初めは人が少なく、署名はなかなか集まりませんでした。徐々に集まってきました。米坂線利用者ですが、乗り換えが大変です。下校時、時間がつぶせる場所が欲しいです。



**久保 道典さん(長井市)**  
今泉近くの寺の住職をしています。置賜農高の皆さんが後輩のため、地域のため米坂線復旧運動に立ち上がった姿に感動しています。「米坂線」今までありがとう。恩返しと未来への夢と期待を込めて復旧するまで頑張るから待ってね。」と叫びたいです。



**竹田 旭展さん(飯豊町)**  
**江本 千駿さん(小松)**  
ネット上で鉄道好きの仲間が集まりました。米坂線のイベント情報があり、初めて会う仲間です。米坂線が来たら、米坂線復旧運動の有志の会に参加しました。JR単独では復旧は無理かも。まずは署名集めから始めます。



**佐藤 史都くん(小松)**  
**永都くん(小松)**  
近くに住んでいるので、楽しく参加しました。こんな風に歩行者天国にして遊べる方がいいですね。子どもが遊べる場が少ない気がします。ぜひ、周りの市町民に安全に遊べる施設をつくってくださ（父親より）



### 表紙の写真

みんなで体験  
実りの秋  
天候不順の秋であるが、この日は稲刈り日和。小松小学校では置賜農業高校の生徒の指導により、稲刈り体験が行われた。  
田植え後、6月〜8月までは猛暑日が続き、雨が降らず水不足に悩まされた。刈り取り時期を向かえ実った稲を見ると満足する出来ばえだ。とても貴重な体験だった。  
収穫した米は、収穫を感謝する行事を行い、全校児童皆さんで味わうことになっている。



9/3(日) 羽前小松駅前で行われた 駅前歩行者天国にてインタビューしました。インタビューから出た要望などは政策提言などに生かしていきます。

# 町民の声

## 高齢者の足の確保を

### ◆ プロフィール ◆

齋藤 繭子(さいとう まゆこ)さん

川西町大字上奥田  
家族構成 夫、父の3人暮らし  
高島町出身  
趣味 料理

東沢地区にお住いの齋藤繭子さんに子育てや町に望むことをお聞きしました。

出会いはどうだったか  
教えてもらえますか

町内の青年団体が行った婚活パーティーで知り合いました。仕事先で同僚に行ってみようと誘われて参加しました。そこで出会い、2015年4月に入籍しました。出身は隣の高島町です。

東沢の印象はどうですか

こちらに来た当時は雪の量が違うと実感しました。来た当時は4WD車でなかったため移動に苦労しました。現在は4WD車になりました。高島に居たときよりも周りが離れているためか静かで、小動物の出没が多いです。隣近所の皆さんには優しくしてもらっています。

現在取り組まれていることは何かありますか

ます。

現在交代勤務で仕事をしています。仕事で時間が空いたときなどボランティアで子ども食堂の手伝いをしています。

仲良しキッチンでは、土日の子どもの居場所づくりを中心に行っていました。最近は何の形での取り組みも出てきています。夫もイベントなどに参加して手伝ってくれています。毎回100人前後の参加者になります。

ますので、人手がある  
と助かります。

農村地帯なので食材として、米・野菜は提供していただけますが、肉・魚類は厳しい状況です。自分たちで何とか工夫しています。皆さんにはいろいろな形で協力していただいています。

小中学生はスクールバスがありますが、高齢者が多い地域なので、交通弱者対策・買い物難民対策が必要だと感じています。

町に望むことは何かありますか

## 編集の後で

▼統一地方選挙後の委員会再編で2年半の間をあけ広報の仕事に復帰しました。▼議会だよりの編集作業の難しさを改めて実感しています。議案の内容や審議の状況を町民の皆さんに分かりやすく提供するための文章なのか、まだまだ工夫する必要があります。▼今後とも議会だよりをご愛読下さるようお願いいたします。

(さちひろ)

- 発行責任者 井上 晃一
- 委員長 橋本 欣一
- 副委員長 茂木 晶
- 委員 鈴木 幸廣
- 同 伊藤 進
- 同 遠藤 明子
- 同 寒河江寿樹
- アドバイザー(文章) 佐々木賢一
- アドバイザー(写真) 山田 順一
- 齋藤 文夫